

別記

様式第1号 (第36条関係)

年 月 日

相楽中部消防組合消防本部消防長 様

住 所
申告者 職業(職) 電話
氏 名

不 動 産 り 災 申 告 書

1	り 災 年 月 日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者	
	り 災 場 所	京都府			
2	建 築 ・ 購 入 年 月	建 築 又 は 購 入 金 額			
	推 定 ・ 記 録 ・ 記 憶	推 定 ・ 記 録 ・ 記 憶 ・ 不 明			
	年 月	3.3 m ² (坪) 当たりの金額 (円)	総 金 額 (円)		
3	取 得 後 の 経 過				
	修 繕 ・ 改 築	年 月	修 繕 ・ 改 築 し た 箇 所	修 繕 ・ 改 築 に 要 し た 金 額 (円)	
	増 築	年 月	増 築 の 概 要	増 築 面 積 (m ²)	増 築 に 要 し た 金 額 (円)
4	り 災 前 の 建 物 詳 細				
	建 物 の 用 途	屋 根	外 壁	階 数	延 べ 面 積 (m ²)
	居 住 世 帯 数	世 帯	居 住 人 員	人	
5	建 物 ・ 収 容 物 以 外 の り 災 状 況				
	り 災 物 件 名	り 災 別	数 量 又 は 面 積	経 過 年 数	
		焼 ・ 爆 ・ 他		年	
		焼 ・ 爆 ・ 他			
		焼 ・ 爆 ・ 他			
6	火 災 保 険 の 契 約				
	契 約 会 社 名	契 約 年 月	保 険 金 額 (万円)		

(裏)

不動産り災申告書記載要領

(1の欄)

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

(2の欄)

- 1 建築、購入年月、金額の欄は、記録(帳簿や契約書など)によって明らかなものなのか、推定によるものかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた 3.3 m²当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

(3の欄)

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築、又は増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕・改築・増築の欄は、いつ、どこの部分を、どのくらい(m²)、修繕、改築、増築し、いくら(金額)かかったかを記入してください。

	年 月	修繕等した箇所	金 額
例) 改築	平成 2 年 8 月	1 階事務所部分 30 m ²	3,532,500 円
例) 増築	昭和 59 年 4 月	2 階住宅 20 m ²	1,520,000 円

(4の欄)

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。

	用 途	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積
例)	住 宅	日本瓦	モルタル	2 階建	75 m ²
例)	店舗・住宅	亜鉛鉄板	石綿セメント板	3 階建	135 m ²

- 2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

(5の欄)

- 1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
 - (1) 焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど。
 - (2) 爆：爆発により、壊れたものなど。
 - (3) 他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど。

(6の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第 34 条第 1 項に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物 1 棟について 1 枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して 7 日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明書を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 6 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防本部までご連絡ください。

相楽中部消防組合消防本部
電話 0774-72-2119 (代)